

(様式第9)

口大医総第 567 号

平成24年1月1日

厚生労働大臣

殿

開設者名 岡 正

山口大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3の規定に基づき、平成23年度の業務について報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数 32.8人

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照(様式第12)

- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照(様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医 師	257人	83人	323.4人	看護補助者	53人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	10人	16人	22.8人	理学療法士	6人	臨床検査技師	52人
薬剤師	33人	1人	33.7人	作業療法士	3人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	7人	検査その他	0人
助産師	23人	0人	23人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	617人	30人	639.4人	臨床工学技士	10人	医療社会事業従事者	3人
准看護師	0人	1人	0.7人	栄養士	1人	その他の技術員	34人
歯科衛生士	1人	1人	1.7人	歯科技工士	1人	事務職員	211人
管理栄養士	10人	1人	10.7人	診療放射線技師	32人	その他の職員	45人

(注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	627.1人	16.9人	644.0人
1日当たり平均外来患者数	1198.3人	61.7人	1260.0人
1日当たり平均調剤数		2,328 剤	

(注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

## 高度の医療の提供の実績

### 1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類III度又は同分類IV度のものに限る。)に係るものに限る。)	2人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜瘢痕、眼球癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷瘢痕その他の重症の瘢痕性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	7人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。)に係るものに限る。)	0人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	27人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	1人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助	38人
先天性難聴の遺伝子診断	1人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	8人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示  
第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

## 高度の医療の提供の実績

## 2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示  
第一百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 3 その他の高度の医療

医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

## 高度の医療の提供の実績

### 4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱患者数	疾 患 名	取扱患者数
・ベーチェット病	44人	・膿疱性乾癥	4人
・多発性硬化症	69人	・広範脊柱管狭窄症	9人
・重症筋無力症	52人	・原発性胆汁性肝硬変	44人
・全身性エリテマトーデス	137人	・重症急性膵炎	7人
・スモン	1人	・特発性大腿骨頭壞死症	48人
・再生不良性貧血	18人	・混合性結合組織病	22人
・サルコイドーシス	64人	・原発性免疫不全症候群	2人
・筋萎縮性側索硬化症	24人	・特発性間質性肺炎	6人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	121人	・網膜色素変性症	19人
・特発性血小板減少性紫斑病	44人	・プリオノ病	1人
・結節性動脈周囲炎	13人	・肺動脈性肺高血圧症	6人
・潰瘍性大腸炎	124人	・神経線維腫症	11人
・大動脈炎症候群	18人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	21人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・天疱瘡	13人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	0人
・脊髄小脳変性症	31人	・ライソゾーム病	3人
・クローン病	64人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	3人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	15人	・脊髄性筋委縮症	0人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	183人	・球脊髄性筋委縮症	1人
		・慢性炎症性脱髓性多発神経炎	16人
・アミロイドーシス	4人	・肥大型心筋症	0人
・後縫靭帶骨化症	99人	・拘束型心筋症	0人
・ハンチントン病	1人	・ミトコンドリア病	3人
・モヤモヤ病(ウィルス動脈輪閉塞症)	45人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	0人
・ウェグナー肉芽腫症	4人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	1人
・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	40人	・黄色靭帶骨化症	20人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリーブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	14人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH 分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	40人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人		

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

## 高度の医療の提供の実績

<sup>5</sup> 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

## 6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	CPC5回(9例), 胸部カンファレンス4回
部 檢 の 状 況	部検症例数 21例 / 部検率 9.46%

## (様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Biochem Biophys Res Commun. 2011 Apr 29;408(1):120-5.	Imaging mass spectrometry reveals characteristic changes in triglyceride and phospholipid species in regenerating mouse liver.	Miyamura N, Nakamura T, Goto-Inoue N, Zaima N, Hayasaka T, Yamasaki T, Terai S, Sakaida I, Setou M, Nishina H.	第一内科
Hepatology. 2011 Aug;54(2):532-40.	Effect of vitamin K2 on the recurrence of hepatocellular carcinoma.	Sakaida I	第一内科
Anticancer Res. 2011 Jun;31(6):2103-8.	Proteomic differential display analysis for TS-1-resistant and -sensitive pancreatic cancer cells using two-dimensional gel electrophoresis and mass spectrometry.	Yoshida K, Kuramitsu Y, Murakami K, Ryozawa S, Taba K, Kaino S, Zhang X, Sakaida I, Nakamura K.	第一内科
N Engl J Med. 2011 Aug 11;365(6):576-8.	Desferoxamine for advanced hepatocellular carcinoma.	Yamasaki T, Terai S, Sakaida I.	第一内科
Gastrointest Endosc. 2011 Nov;74(5):1143-4.	Esophageal squamous papilloma with tentacular processes.	Nakamura M, Okamoto T, Kiyotoki S, Saito M, Hamabe K, Nishikawa J, Sakaida I.	第一内科
Am J Pathol. 2011 Nov;179(5):2454-63.	Melanocortin 4 receptor-deficient mice as a novel mouse model of nonalcoholic steatohepatitis.	Itoh M, Suganami T, Nakagawa N, Tanaka M, Yamamoto Y, Kamei Y, Terai S, Sakaida I, Ogawa Y.	第一内科
Biochem Biophys Res Commun. 2011 Oct 22;414(2):331-6.	Senescence marker protein 30 (SMP30)/regucalcin (RGN) expression decreases with aging, acute liver injuries and tumors in zebrafish.	Fujisawa K, Terai S, Hirose Y, Takami T, Yamamoto N, Sakaida I.	第一内科
Anticancer Res. 2011 Oct;31(10):3331-6.	Up-regulation of 42 kDa tubulin alpha-6 chain fragment in well-differentiated hepatocellular carcinoma tissues from patients infected with hepatitis C virus.	Kuramitsu Y, Takashima M, Yokoyama Y, Iizuka N, Tamesa T, Akada JK, Wang Y, Toda T, Sakaida I, Okita K, Oka M, Nakamura K.	第一内科
Cell Tissue Res. 2011 Oct;346(1):79-88.	TNFR1-mediated signaling is important to induce the improvement of liver fibrosis by bone marrow cell infusion.	Hisanaga T, Terai S, Iwamoto T, Takami T, Yamamoto N, Murata T, Matsuyama T, Nishina H, Sakaida I.	第一内科
In Vivo. 2011 Nov-Dec;25(6):881-6.	Identification of four isoforms of aldolase B down-regulated in hepatocellular carcinoma tissues by means of two-dimensional Western blotting.	Wang Y, Kuramitsu Y, Takashima M, Yokoyama Y, Iizuka N, Tamesa T, Sakaida I, Oka M, Nakamura K.	第一内科

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Gastroenterol. 2012 Mar;47(3):300-12.	Splenectomy enhances the anti-fibrotic effect of bone marrow cell infusion and improves liver function in cirrhotic mice and patients.	Iwamoto T, Terai S, Mizunaga Y, Yamamoto N, Omori K, Uchida K, Yamasaki T, Fujii Y, Nishina H, Sakaida I.	第一内科
Hepatogastroenterology. 2011 Dec 14;59(118-119).	Preoperative Evaluation of Early Colorectal Cancer Using an Ultrasound Mini Probe.	Tanabe R, Higaki S, Gondo T, Sakaida I.	第一内科
Invest New Drugs. 2011 Dec 21.	A randomized phase II trial of intra-arterial chemotherapy using SM-11355 (Miriplatin) for hepatocellular carcinoma.	Okusaka T, Kasugai H, Ishii H, Kudo M, Sata M, Tanaka K, Shioyama Y, Chayama K, Kumada H, Yoshikawa M, Seki T, Saito H, Hayashi N, Shiratori K, Okita K, Sakaida I, Honda M, Kusumoto Y, Tsutsumi T, Sakata K.	第一内科
J Vet Med Sci. 2011 Dec 13. [Epub ahead of print]	Matrix Metalloproteinases (MMPs) Activity in Cultured Canine Bone Marrow Stromal Cells (BMSCs).	Haraguchi T, Tani K, Koga M, Oda Y, Itamoto K, Yamamoto N, Terai S, Sakaida I, Nakazawa H, Taura Y.	第一内科
J Vet Med Sci. 2011 Dec 26. [Epub ahead of print]	Therapeutic Potential of Canine Bone Marrow Stromal Cells (BMSCs) in the Carbon Tetrachloride (CCl(4))-Induced Chronic Liver Dysfunction Mouse Model.	Haraguchi T, Tani K, Takagishi R, Oda Y, Itamoto K, Yamamoto N, Terai S, Sakaida I, Nakazawa H, Taura Y.	第一内科
J Gastroenterol. 2012 Feb 11. [Epub ahead of print]	Effect of transcatheter arterial infusion chemotherapy using iodized oil and degradable starch microspheres for hepatocellular carcinoma.	Yamasaki T, Saeki I, Harima Y, Zaitsu J, Maeda M, Tanimoto H, Iwamoto T, Hidaka I, Urata Y, Ishikawa T, Takami T, Yamaguchi Y, Uchida K, Terai S, Sakaida I.	第一内科
J Gastroenterol Hepatol. 2012 Mar;27 Suppl 2:104-11.	Autologous bone marrow cell infusions suppress tumor initiation in hepatocarcinogenic mice with liver cirrhosis.	Maeda M, Takami T, Terai S, Sakaida I.	第一内科
Hepatogastroenterology. 2012 Mar-Apr;59(114):533-7.	Hepatic Arterial Infusion Chemotherapy in Combination with Pegylated Interferon- $\alpha$ -2b for Advanced Hepatocellular Carcinoma.	Okita K, Yamasaki T, Hamabe S, Saeki I, Harima Y, Terai S, Sakaida I.	第一内科
山口医学 2011;60(6):255-261	多発性肝転移に対し、Degradable starch microspheres (DSM)とリピオドールによる肝動脈化学塞栓療法を施行後、オクトレオチド酢酸塩を継続投与した回腸原発神経内分泌腫瘍肝転移の一例	大野高嗣、瀬川 誠、橋本真一、内田耕一、寺井崇二、山崎隆弘、星井嘉信、坂井田 功	第一内科
山口医学 2011;60:5-10	外科的切除後にゲムシタビンによる補助化学療法を行った十二指腸癌の1例	中村宗剛、西川 潤、清時 秀、齋藤真理、浜辺功一、岡本健志、山崎 隆弘、坂本和彦、岡 正朗、権藤俊一、坂井田 功	第一内科

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
肝臓 2011;52(7):449-460	進行肝細胞癌に対する肝動注化学療法:114例の検討	浦山直樹、山崎隆弘、播磨陽平、佐伯一成、在津潤一、浜辺崇衣、原野恵、高見太郎、戒能聖治、内田耕一、寺井崇二、坂井田功	第一内科
山口医学 2011;60(4):117-121	憩室を伴った虫垂粘液囊胞腺腫の一例	大賀美穂、橋本真一、松永尚治、田邊亮、岡本健志、西川潤、清水建策、榎垣真吾、藤村嘉彦、中村克衛、小賀厚徳、前田和成、裕彰一、岡正朗、坂井田功	第一内科
山口医学 2011;60(5):173-178	肝細胞癌に対する新たな肝動脈カテーテル療法の有用性	山崎隆弘	第一内科
山口医学 2011;60(6):185-190	CT enteroclysisが内瘻の診断に有用であったクローン病の1例	柴田 大明、橋本 真一、松永 尚治、田邊亮、清水 建策、松隈聰、裕彰一、岡 正朗、坂井田 功	第一内科
肝臓 2011;52(7):468-476	肝細胞癌との鑑別に苦慮した脈絡膜悪性黒色腫肝転移の一例	在津潤一、石川剛、播磨陽平、土屋昌子、高見太郎、山口裕樹、内田耕一、寺井崇二、山崎隆弘、坂井田功	第一内科
山口医学 2011;60(6):237-242	内視鏡的静脈瘤結紮術・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術併用療法で止血し得た十二指腸静脈瘤破裂の1例	山口宗丈、石川剛、末永成之、五嶋敦史、浜辺功一、岩本拓也、橋本真一、中島好晃、岡田宗正、内田耕一、寺井崇二、山崎隆弘、坂井田功	第一内科
山口医学 2011;60(6):243-248	術前診断に超音波内視鏡下穿刺吸引細胞診(EUS-FNA)が有用であった十二指腸カルチノイド	播磨博文、仙譽学、戒能聖治、末永成之、植木谷俊之、吉田加奈子、原野恵、鈴木伸明、岡正朗、坂井田功	第一内科
山口医学 2011;60(6):249-254	直腸未分化癌の一例	西村純一、柳井秀雄、古谷卓三、村上知之、帆足誠司、坂井田功	第一内科
日本東洋医学雑誌	医学生における漢方習熟度と関連する因子の検討	飯塚徳男、内田耕一、坂井田功、岡正朗	第一内科
Circ J	C-Reactive Protein (CRP) Is Not a Mere Marker, but an Active Pathogenic Substance	Toshiro Miura	第二内科

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Echocardiogr	A Case of Cardiac Rupture Subsequent to Myocardial Infarction Diagnosed in Emergency Room	Masakazu Fukuda	第二内科
Circ J	Critical Myocardial Ischemia -Visually Homogeneous but Heterogeneous Through "21st Century Echo Eyes"	Kazuya Murata	第二内科
J Hypertens	Prevention of cardiovascular events with calcium channel blocker-based combination therapies in patients with hypertension: a randomized controlled trial	Masunori Matsuzak	第二内科
Cardiovasc Res	Alterations in adhesion junction precede gap junction remodeling during the development of heart failure in cardiomyopathic hamster	Masaaki Yoshida	第二内科
Circulation	Mutation-Linked Defective Interdomain Interactions Within Ryanodine Receptor Cause Aberrant Ca <sup>2+</sup> Release Leading to Catecholaminergic Polymorphic Ventricular Tachycardia	Takeshi Suetomi	第二内科
Cardiovasc Ultrasound	Right ventricular dysfunction in patients with Brugada-like electrocardiography: a two dimensional strain imaging study	Kazuya Murata	第二内科
Circ J	Urinary 8-Hydroxy-2'-Deoxyguanosine as a Novel Biomarker for Predicting Cardiac Events and Evaluating the Effectiveness of Carvedilol Treatment in Patients With Chronic Systolic Heart Failure	Takehisa Susa	第二内科
J Clin Apher.	Hematopoietic progenitor cell count, but not immature platelet fraction value, predicts successful harvest of autologous peripheral blood stem cells.	Yujiri T	第三内科
Hum Mol Genet.	Wolfram syndrome 1 gene (WFS1) product localizes to secretory granules and determines granule acidification in pancreatic {beta}-cells.	Hatanaka M	第三内科
Int J Hematol.	Activation of the unfolded protein response in primary acute myeloid leukemia cells.	Yujiri T	第三内科

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
PLoS ONE	Glucose and Fatty Acids Synergize to Promote B-Cell Apoptosis through Activation of Glycogen Synthase Kinase 3 $\beta$ Independent of JNK Activation.	Tanabe K	第三内科
Bone Marrow Transplant.	Alteration of Dickkopf-1 and receptor activator of nuclear factor- $\kappa$ B ligand during PBSC mobilization in healthy donors by G-CSF.	Tanaka M.	第三内科
Clin Exp Neuroimmunol	Neuromyelitis optica shows marked hypermetabolism in 18F-FDG positron emission tomography	Kawai M	神経内科
J Neurol	GQ1b-seronegative Fisher syndrome: Clinical features and new serological markers.	Koga M	神経内科
Methods Mol Biol	Isolation and properties of endothelial cells forming the blood-nerve barrier.	Sano Y	神経内科
J Neurol Neurosurg Psychiatry	Sera from neuromyelitis optica patients disrupt the blood-brain barrier	Shimizu F	神経内科
Neurochem Res	Pericyte-derived Glial Cell Line-derived Neurotrophic Factor Increase the Expression of Claudin-5 in the Blood-brain Barrier and the Blood-nerve Barrier.	Shimizu F	神経内科
J Cell Physiol.	Peripheral nerve pericytes modify the blood-nerve barrier function and tight junctional molecules through the secretion of various soluble factors.	Shimizu F	神経内科
Peripheral nerve	糖尿病性末梢神経障害の病態解明に向けたヒト血液神経閻門 in vitroモデルの作成	清水文崇	神経内科
Intern Med	p.Arg332Cys Mutation of NOTCH3 Gene in Two Unrelated Japanese Families with CADASIL.	Sano Y	神経内科

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Neurochem Res	Hydrocortisone enhances the function of the blood–nerve barrier through the up-regulation of claudin-5.	Kashiwamura Y	神経内科
臨床神經	感覚障害を主徴とし、免疫グロブリン静注療法により速やかに改善した遠位型慢性炎症性脱髓性多発ニューロパチーの46歳男性例	竹下幸男	神経内科
Journal of Psychiatric Research	Altered sirtuin deacetylase gene expression in patients with a mood disorder.	Abe et al.	精神科神経科
Journal of Psychiatric Research	State-dependent changes in the expression of DNA methyltransferases in mood disorder patients.	Higuchi et al.	精神科神経科
Cytokine	Serum and cerebrospinal fluid cytokine profile of patients with 2009 pandemic H1N1 influenza virus-associated encephalopathy.	Hasegawa S	小児科
Inflamm Res	Human thymic stromal lymphopoietin enhances expression of CD80 in human CD14+ monocytes/macrophages.	Hirano R	小児科
Cytokine	Leukotriene D4 enhances tumor necrosis factor- $\alpha$ -induced vascular endothelial growth factor production in human monocytes/macrophages.	Haneda Y	小児科
Allergy	Enterovirus 68 infection in children with asthma attacks: Virus-induced asthma in Japanese children.	Hasegawa S	小児科
Cytokine	Interferon production by cells infected with subacute sclerosing panencephalitis (SSPE) virus or measles virus.	Hasegawa S	小児科
Inflamm Res	Amino acids exhibit anti-inflammatory effects in human monocytic leukemia cell line, THP-1 cells.	Hasegawa S	小児科

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clin Exp Immunol	Cysteine, histidine and glycine exhibit anti-inflammatory effects in human coronary arterial endothelial cells.	Hasegawa S	小児科
Journal of Cardiothoracic Surgery	Secondary omental and pectoralis major double flap reconstruction following aggressive sternectomy for deep sternal wound infections after cardiac surgery	Toshiro Kobayashi	第一外科
Journal of Surgical Research	Mesh-based pneumostasis contributes to preserving gas exchange capacity and promoting rehabilitation after lung resection	Kazuhiro Ueda	第一外科
Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery	Totally thoracoscopic resection of a superior mediastinal tumor extending above the thoracic inlet	Toshiki Tanaka	第一外科
Surgery	Operative injury accelerates tumor growth by inducing mobilization and recruitment of bone marrow-derived stem cells	Yoshihiro Takemoto	第一外科
Interactive Cardiovascular and Thoracic Surgery	Delayed sternal closure after vacuum-assisted closure therapy for tracheo-innominate artery fistula repair	Ryo Suzuki	第一外科
General Thoracic and Cardiovascular Surgery	Validation of the JapanSCORE versus the logistic EuroSCORE for predicting operative mortality of cardiovascular surgery in Yamaguchi University Hospital	Hiroshi Kurazumi	第一外科
Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery	Compensation of pulmonary function after upper lobectomy versus lower lobectomy	Kazuhiro Ueda	第一外科
PLoS One	Diabetic impairment of C-kit bone marrow stem cells involves the disorders of inflammatory factors, cell adhesion and extracellular matrix molecules.	Tao-Sheng Li	第一外科
PLoS One	The effects of mechanical stress on the growth, differentiation, and paracrine factor production of cardiac stem cells	Hiroshi Kurazumi	第一外科

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Annals of Vascular Diseases	Impact of aggressive decongestion on the maintenance phase in combined physical therapy for lower extremity lymphedema	Kotaro Suehiro	第一外科
Annals of Thoracic Surgery	Clinical ramifications of bronchial kink after upper lobectomy	Kazuhiro Ueda	第一外科
European Journal of Cardio-Thoracic Surgery	What proportion of lung cancers can be operated by segmentectomy? A computed-tomography-based simulation.	Kazuhiro Ueda	第一外科
Surgery Today	Adenoma of the nipple, focusing on the contrast-enhanced magnetic resonance imaging findings: report of a case	Takaaki Tsushima	第一外科
Annals of Vascular Diseases	Late-onset primary intestinal lymphangiectasia successfully managed with octreotide: A case report	Kotaro Suehiro	第一外科
General Thoracic and Cardiovascular Surgery	Mucosa-associated lymphoid tissue (MALT) lymphoma arising in the esophagus, stomach, and lung	Masataro Hayashi	第一外科
Breast Cancer. 2012 Jan;19(1):77-82.	Prospective ultrasonographic prediction of sentinel lymph node metastasis by real-time virtual sonography constructed with three-dimensional computed tomography-lymphography in breast cancer patients.	Ymamamot S	第二外科
Oncol Rep. 2011 Jul;26(1):287-92.	Screening for serological biomarkers of pancreatic cancer by two-dimensional electrophoresis and liquid chromatography-tandem mass spectrometry.	Wang Y	第二外科
Jpn J Clin Oncol. 2011 Feb;41(2):165-71.	The importance of evaluation of DNA amplificability in KRAS mutation testing with dideoxy sequencing using formalin-fixed and paraffin-embedded colorectal cancer tissues.	Okayama N	第二外科
Oncol Rep. 2011 Dec;26(6):1595-9.	Differential expression of up-regulated cofilin-1 and down-regulated cofilin-2 characteristic of pancreatic cancer tissues.	Wang Y	第二外科

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Anticancer Res. 2011 Dec;31(12):4569-74	Impact of chemotherapy for colorectal cancer on regulatory T-cells and tumor immunity.	Maeda K	第二外科
Anticancer Res. 2011 Oct;31(10):3331-6.	Up-regulation of 42 kDa Tubulin Alpha-6 Chain Fragment in Well-differentiated Hepatocellular Carcinoma Tissues from Patients Infected with Hepatitis C Virus.	Kuramitsu Y	第二外科
Mol Carcinog. 2011 Dec 7. doi: 10.1002/mc.21845. [Epub ahead of print]	Possible involvement of Wnt11 in colorectal cancer progression.	Nishioka M	第二外科
In Vivo. 2011 Nov-Dec;25(6):881-6.	Identification of four isoforms of aldolase B down-regulated in hepatocellular carcinoma tissues by means of two-dimensional Western blotting.	Wang Y	第二外科
Gan To Kagaku Ryoho. 2011 Nov;38(12):2378-80.	A case of gastrointestinal stromal tumor (GIST) successfully treated with resection after a long-term control medication by molecular targeted drugs].	Inoue Y	第二外科
G.I.Research 10 Vol.19 No.5 2011	胃:小腸粘膜下層を利用した胃再生	上野富雄	第二外科
手術 第65巻 第4号	細径管消化管吻合におけるductile penetrating method	上野富雄	第二外科
日本臨床 69号 増刊号3	UGT1A1遺伝子多型検査の意義と実際	裕彰一	第二外科
手術 第65巻 第6号	8、結腸癌に対する鏡視下S状結腸切除術	裕彰一	第二外科
手術 第65号 第8号	胆囊牽引法によるGlisson鞘一括処理法とVIOシステムによる肝切除手技	坂本和彦	第二外科

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
消化器外科 Vol.34 No.10	脾癌手術における術野の展開	上野富雄	第二外科
癌と化学療法	分子標的薬治療後外科的介入を行ったGISTの1例	井上由佳	第二外科
消化器外科 Vol.34 No.13	大腸癌におけるバイオマーカー	鈴木伸明	第二外科
Biotherapy Vol.25 No.6	大腸癌に対するペプチドワクチン療法の進歩と展望	裕彰一	第二外科
臨床外科 Vol67. No3	ドレーンの種類と適応・使用法	松井洋人	第二外科
消化器外科 Vol.35 No.3	Oncologic emergencyとは	中尾光宏	第二外科
Progress in Medicine 第6号 Vol.31 No.6	レンチナン25年の歩み	岡正朗	第二外科
Biotherapy Vol.25 No.5	CetuximabにおけるADCC活性の重要性と免疫細胞療法の可能性	入江桃	第二外科
これからの乳癌診療2011~2012	各種センチネルリンパ節の局在診断の実勢と問題点	山本滋	第二外科
J. Spine Res: 268-271, 2011	The Validity Study of Japanese Orthopaedic Association Back Pain Evaluation Questionnaire (JOABPEQ) for the Patients with Leg Symptom Associated with Lumbar Disc Herniation	Taguchi T	整形外科

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本整形外科学会雑誌 85: 934-941, 2011	骨粗鬆症性椎体骨折に対する保存療法の指針策定－多施設共同前向き無作為化比較パイロット試験の結果より－	田口敏彦	整形外科
中部日本整形外科災害外科学会誌	JIGENシステムを使用したTKAの大腿骨コンポーネント設置角度の正確性	目 昭仁	整形外科
臨床と研究	疼痛治療の実際 腰痛・坐骨神経痛	鈴木秀典	整形外科
Med Mol Morphol	Transplantation of neurospheres derived from bone marrow stromal cells promotes neurological recovery in rats with spinal cord injury	鈴木秀典	整形外科
整形外科と災害外科	関節リウマチに対するインフリキシマブによるBio-free remissionの検討	今釜 崇	整形外科
中部日本整形外科災害外科学会雑誌 Vol.55, No.2	当院における人工股関節術後感染症例の検討	今釜 崇	整形外科
Orthopedics	Rotational Acetabular Osteotomy for Habitual Hip Dislocation With Posterior Acetabular Wall Deficiency in Patients With Down Syndrome	今釜 崇	整形外科
整形外科と災害外科	有限要素法を使用したブラウンセカール症候群の脊髄圧迫メカニズム	西田周泰	整形外科
Journal of spinal cord medhicine	Biomechanical study of spinal cord thoracic ossification of the posterior longitudinal ligament	Nishida Norihiro	整形外科
SPINE	Pathology and prognosis of proximal-type cervical spondylotic amyotrophy: new assessment using compound muscle action potentials of deltoid and biceps brachii muscles.	IMAO Y.	整形外科

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Spinal cord	Relative vulnerability of various spinal tracts in C3-4 cervical spondylotic myelopathy: multi-modal spinal cord evoked potentials.	IMAJO Y.	整形外科
脊髄機能診断学	近位型頸椎症性筋萎縮症の治療方針の再検討 電気生理学検査を用いて	今城靖明	整形外科
中部日本整形外科災害 外科学会雑誌	電気生理学手法を用いた近位型頸椎症性筋萎縮症の治療方針の再検討	今城靖明	整形外科
Journal of Spine Research	【脊椎・脊髄損傷の診断と治療戦略】有限要素法を用いた非骨傷性頸髄損傷発生メカニズムの解明	今城靖明	整形外科
中部日本整形外科災害 外科学会雑誌	発症後1ヵ月以上経過した環軸関節回旋位固定に対する保存的治療(原著論文/症例報告)	今城靖明	整形外科
中部日本整形外科災害 外科学会雑誌 Vol.55, No.1	片側前根単独障害と診断した近位型頸椎症性筋萎縮症の治療	今城靖明	整形外科
J Shoulder Elbow Surg. 2012 Feb;21(2)	Extremely rare synovial chondrosarcoma arising from the elbow joint: case report and review of the literature.	村松 慶一	整形外科
Ann Vasc Surg. 2011 Nov;25(8)	Clinical outcome of limb-salvage surgery after wide resection of sarcoma and femoral vessel reconstruction.	村松 慶一	整形外科
J Plast Reconstr Aesthet Surg. 2011 Aug;64(8)	Transfer of latissimus dorsi muscle for the functional reconstruction of quadriceps femoris muscle following oncological resection of sarcoma in the thigh.	村松 慶一	整形外科
J Hand Surg Am. 2011Feb;36(2)	Malignant transformation of multiple enchondromas in the hand: case report.	村松 慶一	整形外科

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Surg Res.2011 Dec;171(2)	Myeloablative irradiation, granulocyte-colony stimulating factor, and FK506 can induce macrochimerism and prolong the survival of experimental extremity allografts.	村松 慶一	整形外科
Surgical Oncology	Stimulation of neo-angiogenesis by combined use of irradiated and vascularized living bone graft for oncological reconstruction.	村松 慶一	整形外科
Journal of Plastic	Immunomodulatory effects of pre-irradiated extremity allograft in the rodent model.	村松 慶一	整形外科
Acta Orthopaedica Belgica Vol.78-2-2012	Late development of malignant fibrous histiocytoma at the site of a giant cell tumour 38 years initial surgery	村松 慶一	整形外科
整形外科と災害外科 60巻Suppl.2	Preiser病の治療経験	村松 慶一	整形外科
日本整形外科学会雑誌 85巻8号	四肢移植片に対する骨髓破壊性前処置と宿主G-CSF投与は有意な生着延長効果がある	村松 慶一	整形外科
整形外科と災害外科 60巻Suppl.1	機能的遊離広背筋移植による大腿四頭筋切除後の膝伸展再建	村松 慶一	整形外科
日本整形外科学会雑誌 85巻6号	機能的遊離広背筋移植による大腿四頭筋切除後の再建	村松 慶一	整形外科
日本整形外科学会雑誌 85巻6号	大腿部悪性骨・軟部腫瘍切除後に血行再建を併用した患肢温存術の治療成績	村松 慶一	整形外科
日本手外科学会雑誌 28巻1号	四肢移植片に対する骨髓破壊性前処置と宿主G-CSF投与は有意な生着延長効果がある	村松 慶一	整形外科

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本手外科学会雑誌 28巻1号	上肢神経鞘腫に対する被膜内腫瘍核出術の有用性	村松 慶一	整形外科
山口県医学会誌 45号	当科における骨軟部腫瘍の治療成績(その8) 脂肪腫～高分化型脂肪肉腫	村松 慶一	整形外科
山口県医学会誌 45号	Review Paper 当科における骨軟部腫瘍の治療成績(その6) 骨肉腫	村松 慶一	整形外科
日本整形外科学会雑誌 85巻3号	大腿部悪性骨・軟部腫瘍切除後に血行再建を併用した患肢温存術の治療成績	村松 慶一	整形外科
Journal of Spine Research	ラット脊髄損傷後の機能的神経筋電気刺激治療モデルの確立	寒竹 司	整形外科
Journal of Spine Research	術中脊髄モニタリングにおいて最適なmulti-modalityの組み合わせは何か？脊椎脊髄病学会モニタリング委員会による多施設調査	寒竹 司	整形外科
Journal of Spine Research	術中脊髄モニタリングにおけるmulti-channelの有用性. 脊椎脊髄病学会モニタリング委員会による多施設調査	寒竹 司	整形外科
Journal of Spine Research	術中脊髄モニタリングにおける波形変化と筋力低下の関係. 脊椎脊髄病学会モニタリング委員会による多施設調査	寒竹 司	整形外科
日本人工関節学会誌	セメントレスロングシステム・遠位横止めシステムによる人工股関節再置換術の術後成績	徳重厚典	整形外科
整形外科と災害外科	緩みのない大腿骨セメントレスシステムの抜去を行った症例についての検討	徳重厚典	整形外科

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Hip Joint	Mallory-Headシステムを用いた人工股関節置換術の固定様式と術後成績	徳重厚典	整形外科
The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine 48巻	自殺企図で受傷した多発骨折患者リハビリーションの問題点	小笠博義	整形外科
The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine 48巻	デスマトイド局所再発術後の切断端にCRPSを合併した症例の理学療法	小笠博義	整形外科
骨折 33巻	大腿骨遠位部骨折に対するPolyaxial Locking Plate	小笠博義	整形外科
日本肘関節学会雑誌 19巻1号	人工肘関節置換術(DOH型)の短・中期成績	橋本 貴弘	整形外科
整形外科と災害外科 60巻	Thompson法を用いた母指CM関節症の治療成績	橋本 貴弘	整形外科
J. Invest. Dermatol.(2011)	Epidermal FABP(FABP5) regulates keratinocyte differentiation by 13(s)-HODE-mediated activation of the NF- $\kappa$ B signaling pathway	Ogawa E.	皮膚科
J. Invest. Dermatol.(2011)	Characterization of tight junctions and their disruption by UVB in human epidermis and cultured keratinocytes	Yuki T.	皮膚科
J. Dermatol . (2011)	Prevalence of dermatological disorders in Japan: A nationwide, cross-sectional, seasonal, multicenter, hospital-based study	Furue, M.	皮膚科
J. Dermatol. Sci.(2011)	Association between T-lymphocyte regulatory gene CTLA4 single nucleotide polymorphism at position 49 in exon 1 and HLA-DRB1*08 in Japanese patients with psoriasis vulgaris.	Muto M.	皮膚科

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Acta. Derm. Venereol.(2011)	Drug-induced hypersensitivity syndrome induced by clindamycin.	Nakamura Y.	皮膚科
Aesthetic Dermatology(2011)	美容皮膚科学(山口レポート)	武藤 正彦	皮膚科
西日本皮膚(2011)	プレミネント(配合剤中のヒドロクロロチアジド)による光線性白斑黒皮症の1例	中村 好貴	皮膚科
The Color Atlas of Disorders of Keratinization(2011)	Olmsted syndrome	Muto M.	皮膚科
日皮会誌(2011)	類乾癬	武藤 正彦	皮膚科
日皮会誌(2012)	皮膚疾患遺伝子診断ガイドライン(第1版)	澤村 大輔	皮膚科
Jpn J Clin Oncol.	Combined functional genome survey of therapeutic targets for clear cell carcinoma of the kidney.	Ito H. et al	泌尿器科
J Androl.	Local expression of epidermal growth factor-like growth factors in human testis and its role in spermatogenesis.	Shiraishi K. et al.	泌尿器科
Hum Reprod.	Human chorionic gonadotrophin treatment prior to microdissection testicular sperm extraction in non-obstructive azoospermia.	Shiraishi K et al.	泌尿器科
Hum Pathol.	Centrosome amplification as a putative prognostic biomarker for the classification of urothelial carcinomas.	Yamamoto Y et al.	泌尿器科

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Japanese Journal of Ophthalmology	New mode of treatment for lattice corneal dystrophy type I: corneal epithelial debridement and fibronectin eye drops.	Yukiko Morita	眼科
Experimental Eye Research	Protective effect of dexamethasone against hypoxia-induced disruption of barrier function in human corneal epithelial cells.	Kazuhiro Kimura	眼科
Investigative Ophthalmology & Visual Science	Role of $\beta$ -Pix in corneal epithelial cell migration on fibronectin.	Kazuhiro Kimura	眼科
Cornea	Immunohistofluorescence Analysis of Myofibroblast Transdifferentiation in Human Corneas with Bullous Keratopathy	Naoyuki Morishige	眼科
Japanese Journal of Ophthalmology	Detection of ICP0 protein in tear fluid of individuals with active herpetic epithelial keratitis.	Naoyuki Morishige	眼科
Journal of Cataract and Refractive Surgery	Impact of the preoperative duration of stromal edema in bullous keratopathy on early visual acuity after endothelial keratoplasty.	Naoyuki Morishige	眼科
Japanese Journal of Ophthalmology	Decrease in intraocular pressure measured with a noncontact tonometer after orthokeratology	Yoshihito Ishida	眼科
眼科手術	特集(2) ぶどう膜炎外科療法—私はこうしている—ぶどう膜炎による続発緑内障に対する外科療法.	鈴木 克佳	眼科
日本眼科学会雑誌	第二次高調波発生を用いた正常角膜と疾患角膜の構造解析	森重 直行	眼科
眼炎症学会誌	眼表面炎症疾患による角膜の細胞間接着機構への作用	木村 和博	眼科

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本眼科学会雑誌	炎症性サイトカインtumor necrosis factor- $\alpha$ による培養角膜上皮バリアー破綻の機構	木村 和博	眼科
日本医事新報	臨床医学の展望2011眼科学「6. 角結膜疾患」	山田 直之	眼科
頭頸部自律神経	AMPAによる末梢前庭障害に対するFGLM+SSSRの効果	豊田英樹	耳鼻咽喉科
頭頸部自律神経	SSSR、FGLM-NH2による有毛細胞保護効果について	吉田周平	耳鼻咽喉科
日本耳鼻咽喉科感染症研究会会誌	小児急性中耳炎診療ガイドラインに基づいた治療と検出菌の変化	菅原一真	耳鼻咽喉科
ENTONI	難聴に対する鼓室注入による局所治療	橋本 誠	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科展望	フリーウェアOsiriXを用いた鼻副鼻腔手術における術前・術中のCT読影	橋本 誠	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科展望	DICOM viewerOsiriXを用いた患者の上気道形態評価	原 浩貴	耳鼻咽喉科
今日の小児治療指針	耳鼻咽喉・気管の疾患 心因性難聴	山下裕司	耳鼻咽喉科
JOHNS	声帯ポリープ、声帯結節、声帯囊胞	原 浩貴	耳鼻咽喉科

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Auris Nasus Larynx	Geranylgeranylacetone suppresses noise-induced expression of proinflammatory cytokines in the cochlea.	Tetsuya Nakamoto	耳鼻咽喉科
Eur J Radiol 2011; 80,336-341	Systolic reconstruction in patients with low heart rate using coronary dual-source CT angiography	M Okada,Y Nakashima,Y Shigemoto,N Matsunaga,T Miura,T Nao,Y Sano,A Narasaki,S Kido	放射線科
J Thorac Imaging. 2011; 26: W23-5	Engraftment syndrome after hematopoietic stem cell transplantation: high-resolution computed tomography findings in 2 patients	Kunihiro Y, Tanaka N, Ando T, Yujiri T, Matsunaga N.	放射線科
Jpn J Radiol. 2012; 30, 206-217	Long term follow-up for small pure ground-glass nodules: implications of determining an optimum follow-up period and high-resolution CT findings to predict the growth of nodules	S Takahashi,N Tanaka,T Okimoto,T Tanaka,K Ueda,T Matsumoto,K Ashizawa,Y Kunihiro,S Kido,N Matsunaga	放射線科
Jpn J Radiol 2011;29:229-235	High-resolution computed tomography of chest complications in patients treated with hematopoietic stem cell transplantation	N Tanaka,Y Kunihiro,T Yujiri,T Ando,T Gondo,S Kido,N Matsunaga	放射線科
Br J Radiol. published ahead of print, January 3, 2012	MRI of the anatomical structures of the knee: The proton density-weighted fast spin-echo sequence vs the proton density-weighted fast recovery fast spin-echo sequence	Tokuda O, Harada Y, Shiraishi G, Motomura T, Fikuda K, Kimura M, Matsunaga N	放射線科
Emerg Radiol 2012 Feb 28 Epub ahead of print	Percutaneous transhepatic obliteration for massive variceal rectal bleeding	M Okada, Y Nakashima, T Kishi, N Matsunaga, T Ishikawa, T Tamesa, T Yonezawa	放射線科
Eur J Radiol 2011 Dec 6 Epub ahead of print	The low attenuation area on dual-energy perfusion CT: Correlation with the pulmonary function tests and quantitative CT measurements	M Okada, Y Kunihiro, Y Nakashima, N Matsunaga, Y Sano, Y Yuasa, A Narasaki, S Kudomi, M Koike, S Kido	放射線科
Jpn J Radiol. 2011; 30, 154-161	High-resolution computed tomography findings of influenza virus pneumonia: a comparative study between seasonal and novel (H1N1) influenza virus pneumonia	N Tanaka, T Emoto, H Suda, Y Kunihiro, N matsunaga	放射線科
Jpn J Radiol 2011;29:316-323	Evaluation of image quality on a per-patient,per-vessel, and per-segment basis by noninvasive coronary angiography with 64-section computed tomography:dual-source versus single-source computed tomography	Y Nakashima,M Okada,Y Washida,T Miura,T Fujimura,T Nao,N Matsunaga	放射線科

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Ovarian Research 5:5	The role of melatonin as an antioxidant in the follicle.	Tamura H	産科婦人科
Journal of Reproduction and Development 57:604–619.	Disease-dependent differentially methylated regions (D-DMRs) of DNA are enriched on the X chromosome in uterine leiomyoma.	Maekawa R	産科婦人科
Cancer Letters 311:77–84.	Suppression of carbonyl reductase expression enhances malignant behaviour in uterine cervical squamous cell carcinoma: Carbonyl reductase predicts prognosis and lymph node metastasis.	Murakami A	産科婦人科
The Journal of Clinical Endocrinology & Metabolism 96: E1073–E1082	Differential effects of progesterone on COX-2 and Mn-SOD expressions are associated with histone acetylation status of the promoter region in human endometrial stromal cells.	Tamura I	産科婦人科
Journal of Reproduction and Development 57:507–517.	Epigenetic assessment of environmental chemicals detected in maternal peripheral and cord blood samples.	Arai Y	産科婦人科
Journal of Pineal Research 51: 207–213.	Protective role of melatonin in progesterone production by human luteal cells.	Taketani T	産科婦人科
Proteomics – Clinical Applications 5: 133–140.	Comparative proteomic profiling in squamous cell carcinoma of the uterine cervix.	Fukushima C	産科婦人科
Clinical Neuroscuence	脊髄電気刺激療法	藤井正美	脳神経外科
Neurosurgery	Fate of Clots in Patients With Subarachnoid Hemorrhage After Different Surgical Treatment Modality: A Comparison Between Surgical Clipping and Guglielmi Detachable Coil Embolisation, Surgical Clearance of Subarachnoid Clots	Satoshi Shirao	脳神経外科
脳神経外科速報	くも膜下出血後の脳血管攣縮に関する最新知見	白尾敏之	脳神経外科

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Neurol Med Chir	Neuroprotective Effects of Ebselen Following Forebrain Ischemia: Involvement of Glutamate and Nitric Oxide	Hiroyasu Koizumi	脳神経外科
脳卒中の外科	Clip・Coi複合チームによる未破裂脳動脈瘤の治療と合併症-克服すべきは何か-	鈴木倫保	脳神経外科
World Neurosurgery	Survey of Current Neurotrauma Treatment Practice in Japan	Eiichi Suehiro	脳神経外科
Surgical Neurology International	A proposed definition of symptomatic vasospasm based on treatment of cerebral vasospasm after subarachnoid hemorrhage in japan: Consensus 2009, a project of the 25th Spasm Symposium	Satoshi Shirao	脳神経外科
山口医学	帽状腱膜下血腫に対して外科的処置を行なった1例	鳥居廣明	脳神経外科
脳神経外科ジャーナル	鎖骨下動脈盗血症候群に対するPTA/stentの効果:SPECTによる脳血流評価	石原秀行	脳神経外科
Cerebrologia Medico-Chirurgica	Significance of Differences Between Brain Temperature and Core Temperature[Delta T] During Mild Hypothermia in Patients With Diffuse Axonal Injury	Eiichi Suehiro	脳神経外科
Journal of Cerebral Blood Flow & Metabolism 日本語版	ヨウ素123-イオマゼニルSPECTによる外傷性脳損傷後神經細胞の生存能力回復	Hiroyasu Koizumi	脳神経外科
脳神経外科ジャーナル	頭部外傷に対する低体温療法の適応と限界	末廣栄一	脳神経外科
小児の脳神経	脊髄脂肪腫の自然歴と手術適応に関する多施設共同調査:COE-SB Top 7の結果報告	鈴木倫保	脳神経外科

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clinical Neurology Today	内科的治療中に症候化した頸動脈狭窄病変の特徴	石原秀行	脳神経外科
臨床病理	脳神経外科医から見た頸部血管エコー検査	貞廣浩和	脳神経外科
神経外傷	Iomazenil SPECT と脳実質微小透析法を用いた急性硬膜下血腫における病態評価	小泉博靖	脳神経外科
Clin Neurophysiol	Intra-operative monitoring of lower extremity motor-evoked potentials by direct cortical stimulation.	Maruta Y	脳神経外科
J Neuroimaging.	Repeated Cerebral Ischemia Caused by Extracranial Carotid Artery Dolichoectasia.	Sadahiro H	脳神経外科
J Neurosurg Pediatr.	Intracranial yolk sac tumor in a patient with Down syndrome.	Maeda Y	脳神経外科
ONCOLOGY REPORTS	Loss of 3p26.3 is an independent prognostic factor in patients with oral squamous cell carcinoma	内田 堅一郎	歯科口腔外科
日本口腔腫瘍学会誌	下顎骨内に発生した孤立性神経線維腫の1例 -囊胞性疾患との鑑別を要した症例-	植田 祐子	歯科口腔外科
Dental Materials Journal	Comparison of apatite-coated titanium prepared by blast coating and flame spray methods - Evaluation using simulated body fluid and initial histological study-	真野 隆充	歯科口腔外科
頭頸部癌学会誌	口腔扁平上皮癌における分子標的薬 Bortezomib と TS-1の併用効果についての基礎的研究	原田 豊子	歯科口腔外科

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Folia Phoniatr Logop	Lyapunov exponents for Japanese vowels in normal adult and cleft palate speakers	三島 克章	歯科口腔外科
J Cranio-Maxillofac Surg	Analysis of lip motion using principal component analyses	三島 克章	歯科口腔外科
医歯薬出版	口腔外科専門医マニュアル 「顎口腔領域の硬組織・軟組織に生じる良性腫瘍と囊胞の手術」	三島 克章	歯科口腔外科
J Cereb Blood Flow Metab	Combinational Therapy using Hypothermia and the Immunophilin Ligand FK506 to Target Altered Pial Arteriolar Reactivity, Axonal Damage, and Blood-Brain Barrier Dysfunction after Traumatic Brain Injury in Rat	Oda Y, Gao G, Wei EP, Povlishock JT	先進救急医療センター
J Clin Pharmacol	Population pharmacokinetics and pharmacodynamics of brief etomidate infusion in healthy volunteers.	Kaneda K, Yamashita S, Sukyung Woo, Tae-Hyung Han	先進救急医療センター
Circ J	Impact of Therapeutic Hypothermia in the Treatment of Patients With Out-of-Hospital Cardiac Arrest From the J-PULSE-HYPO Study Registry.	Yokoyama H, Nagao K, Hase M, Tahara Y, Hazui H, Arimoto H, Kashiwase K, Sawano H, Yasuga Y, Kuroda Y, Kasaoaka S, Shirai S, Yonemoto N, Nonogi H; The J-PULSE-Hypo Investigators.	先進救急医療センター
J Neurotraum	The Combination of Either Tempol or FK506 with Delayed Hypothermia: Implications for Traumatically Induced Microvascular and Axonal Protection	Fujita M, Oda Y, Enoch P. Wei, John T. Povlishock	先進救急医療センター
Critical Care	Association of body temperature and antipyretic treatments with mortality of critically ill patients with and without sepsis: multi-centered prospective observational study	Ryosuke Tsuruta	先進救急医療センター
Carcinogenesis	MicroRNA-1826 directly targets beta-catenin (CTNNB1) and MEK1 (MAP2K1) in VHL-inactivated renal cancer. Carcinogenesis	日野田裕治	臨床検査・腫瘍学
Mol Cancer Ther	Tumor suppressor microRNA-493 decreases cell motility and migration ability in human bladder cancer cells by downregulating RhoC and FZD4	日野田裕治	臨床検査・腫瘍学

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Mol Carcinog	Possible involvement of Wnt11 in colorectal cancer progression	日野田 裕治、末広 寛	臨床検査科
Int J Cancer	IGFBP-4 activates the Wnt/beta-catenin signaling pathway and induces M-CAM expression in human renal cell carcinoma	日野田 裕治	臨床検査科
Br J Haematol	Oxidation stress index' as a possible clinical marker for the evaluation of non-Hodgkin lymphoma	日野田 裕治	臨床検査科
Pediatr Diabetes	Association between the FTO gene and overweight in Japanese children and adolescents	日野田 裕治、末広 寛	臨床検査科
Mol Carcinog	Wnt antagonist DICKKOPF-3 (Dkk-3) induces apoptosis in human renal cell carcinoma	日野田 裕治、末広 寛	臨床検査科
Cancer	DICKKOPF-4 activates the noncanonical c-Jun-NH <sub>2</sub> kinase signaling pathway while inhibiting the Wnt-canonical pathway in human renal cell carcinoma	日野田 裕治	臨床検査科
Int J Cancer	Wnt antagonist DKK1 acts as a tumor suppressor gene that induces apoptosis and inhibits proliferation in human renal cell carcinoma	日野田 裕治	臨床検査科
Carcinogenesis	MicroRNA-1826 targets VEGFC, beta-catenin (CTNNB1) and MEK1 (MAP2K1) in human bladder cancer	日野田 裕治	臨床検査科
J Am Coll Cardiol.	A dipeptidyl peptidase-4 inhibitor, des-fluoro-sitagliptin, improves endothelial function and reduces atherosclerotic lesion formation in apolipoprotein E-deficient mice.	Matsubara J,Matsui K	総合診療部
Atherosclerosis	Rosuvastatin combined with regular exercise preserves coenzyme Q10 levels associated with a significant increase in high-density lipoprotein cholesterol in patients with coronary artery disease.	Toyama K,Matsui K	総合診療部

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Pharmacoepidemiol Drug Saf.	Epidemiology of potentially inappropriate medication use in elderly patients in Japanese acute care hospitals.	Sakuma M,Matsui K	総合診療部
J Gen Intern Med	Incidence of adverse drug events and medication errors in Japan: the JADE study.	Morimoto T,Matsui K	総合診療部
Am J Clin Oncol	Phase II study of radiation therapy combined with weekly low-dose gemcitabine for locally advanced, unresectable pancreatic cancer.	瀧谷 景子	放射線治療部
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Interfractional reproducibility in pancreatic position based on four-dimensional computed tomography.	瀧谷 景子	放射線治療部
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Prognostic factors in stereotactic body radiation therapy for non-small-cell lung cancer.	瀧谷 景子	放射線治療部
Radiological Physics and Technology	Correction of liver displacement due to irregular respiration for SPECT images obtained using a multiple short-time acquisition with breath-holding technique	Yasuyuki Ueda	放射線部
Neurosurgery	Fate of Clots in Patients with Subarachnoid Hemorrhage after Different Surgical Treatment Modality : A comparison Between Surgical Clipping and Guglielmi Detachable Coil Embolization.	Yukari Hayashi, Tomoko Shigeeda, Kaori Nakano	検査部
山口医学	新たに分離されたリネゾリド耐性MRSA株の分子遺伝学的解析	水野秀一	検査部
Pediatric Diabetes	Association between the FTO gene and overweight in Japanese children and adolescents.	Okayama N	検査部
Intern Med.	p.Arg332Cys Mutation of NOTCH3 Gene in Two Unrelated Japanese Families with CADASIL.	Naoko Okayama	検査部

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Am Soc Echocardiogr 2011;24: B9	Comparison of echocardiographic two-dimensional versus three-dimensional speckle tracking method in the assessment of left atrial strain.	Toru Ariyoshi	検査部
Cardiovasc Ultrasound. 2011;9:30	Right ventricular dysfunction in patients with Brugada-like electrocardiography: a two dimensional strain imaging study.	Kazuya Murata	検査部
Circ J. 2012;76:675-81	Simultaneous Doppler tracing of transmural inflow and mitral annular velocity as an estimate of elevated left ventricular filling pressure in patients with atrial fibrillation.	Yasuaki Wada	検査部
医療情報学	情報の創造による臨床検査の活用支援にむけた取り組み	石田 博	医療情報部
医療情報学	検査診断関連研究の論文作成支援システムのプロトタイプ開発	石田 博	医療情報部
医療情報学	がん登録と二次利用を考慮したがん診療支援機能の開発	井上 裕二	医療情報部
Biol Pharm Bull	Disinfection methods for spores of <i>Bacillus atrophaeus</i> , <i>B. anthracis</i> , <i>Clostridium tetani</i> , <i>C. botulinum</i> and <i>C. difficile</i>	Oie S	薬剤部
International Journal of Ergonomics	Analysis of Questionnaire Data Concerning the Role of Printed Marks in the Safety of Using of Transdermal Patches	Masaomi Kimura, Hiroyuki Furukawa	薬剤部
日本病院薬剤師会雑誌	医療機関を対象とした事前ヒアリングに関する調査報告と治験実施の効率化に向けた検討	寺元 剛、有馬秀樹	薬剤部

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

1/10

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
小型魚類を用いた次世代型遺伝子導入法の開発	坂井田 功	第一内科	1,300,000	(補)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
培養ヒト骨髓細胞を用いた低侵襲肝臓再生療法の開発				(委)	
肝硬変・肝不全に有用な骨髓由来Nano-induced Stem Cell(Nano-iSC)分離培養技術の臨床開発	坂井田 功	第一内科	17,001,000	(補)	独立行政法人 科学技術振興機構
骨髓および脂肪由来細胞を用いた次世代型肝臓再生・修復(抗線維化)療法の開発研究				(委)	
進行・再発肝細胞癌に対する動注化学療法と分子標的併用による新規治療法の確立を目指した臨床試験(PhaseⅢ)ならびに効果を予測するbiomarkerの探索研究	坂井田 功	第一内科	800,000	(補)	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
門脈血行異常症に関する調査研究				(委)	
骨髓由来肝臓修復細胞を用いた次世代型細胞遺伝子治療法の開発のための基盤研究	寺井 崇二	第一内科	4,500,000	(補)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
体内時計による肝再生、脂肪化の制御に対する時間治療法の開発への基盤研究				(委)	
肝がんの新規治療法に関する研究	寺井 崇二	第一内科	2,000,000	(補)	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
細胞表面に局在する“細胞内タンパク質”的網羅的解析と組織障害・修復機能の解明				(委)	
胃癌の発生におけるEBV感染とAID発現の関与について	西川 潤	第一内科	1,400,000	(補)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
防風通聖散および大柴胡湯の肝発癌・肝線維化抑制効果の研究				(委)	
骨髓幹細胞とマクロファージの相互作用を用いた次世代型肝修復療法の開発	内田 耕一	第一内科	1,000,000	(補)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
重症心不全・致死性不整脈に対する分子標的療法の確立				(委)	
心筋細胞内カルシウム制御による心不全・心肥大・致死的不整脈の包括的治療法の確立	石川 剛	第一内科	1,400,000	(補)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
松崎 益徳				(委)	
矢野 雅文	第二内科	第二内科	4,200,000	(補)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
				(委)	
			5,000,000	(補)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
				(委)	

小計 15

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

2/10

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
肥大型心筋症における心肥大退縮療法の開発	矢野 雅文	第二内科	1,200,000	(補)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
				委	
特発性心筋症に関する調査研究	矢野 雅文	第二内科	1,000,000	(補)	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
				委	
わが国の生活習慣病における一次予防のための運動基準策定を目的とした大規模介入研究	三浦 俊郎	第二内科	1,000,000	(補)	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
				委	
致死性不整脈発生基質としての介在板リモーディングの検討	大草 知子	第二内科	2,100,000	(補)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
				委	
筋小胞体マイクロドメイン脱リン酸化調節異常を標的にした心不全治療法の開発	池田 安宏	第二内科	1,000,000	(補)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
				委	
光干渉断層法の3次元再構成画像を用いた新たなステント留置後評価法の確立	岡村 誉之	第二内科	2,900,000	(補)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
				委	
リアノジン受容体分子内のK201結合コアをターゲットとした不整脈治療の実用化	山本 健	第二内科	1,700,000	(補)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
				委	
細胞内カルシウム放出制御による新しい悪性高熱症・不整脈の治療開発と臨床応用	小林 茂樹	第二内科	1,500,000	(補)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
				委	
ナトリウムチャネル病における致死的不整脈発症機序の解明とその治療応用	土居 正浩	第二内科	1,500,000	(補)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
				委	
肥大型心筋症の致死的不整脈に対する細胞内Ca <sup>2+</sup> 制御による新しい治療法の開発	奥田 真一	第二内科	1,700,000	(補)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
				委	
Wolfram症候群をモデルとした糖尿病におけるβ細胞不全のメカニズム解析	谷澤 幸生	第三内科	5,700,000	(補)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
				委	
Wolfram症候群の実態調査に基づく早期診断法の確立と診療指針作成のための研究	谷澤 幸生	第三内科	10,000,000	(補)	厚生労働省 科学研究費補助金
				委	
糖尿病診療均てん化のための標準的診療マニュアル作成とその検証－ガイドラインを実用化するためのシステム・体制整備の視点から	谷澤 幸生	第三内科	600,000	(補)	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
				委	
GSK-3βの肺β細胞量調節機構の解明とその制御による2型糖尿病治療の研究	田部 勝也	第三内科	900,000	(補)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
				委	
血液神経閥門の人為的改変：難治性末梢神経疾患新規治療法開発へのアプローチ	神田 隆	神経内科	3,600,000	(補)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
				委	

小計 15

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

3/10

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
ヒト神経系不死化細胞株の網羅的樹立と三次元モデル構成の試み	神田 隆	神経内科	1,500,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
難治性ニューロパシーの診断技術と治療法の開発に関する研究	神田 隆	神経内科	600,000	(補) 委	独立行政法人国立精神・神経医療研究センター
ビックースタッフ型脳幹脳炎の診断及び治疗方法の更なる推進に関する研究	神田 隆	神経内科	1,000,000	(補) 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究代表者)
免疫性神経疾患に関する調査研究	神田 隆	神経内科	1,200,000	(補) 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
難治性神経因性疼痛の基礎疾患の解明と診断・治療精度を向上させるための研究	神田 隆	神経内科	900,000	(補) 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
細菌感染後性末梢神経疾患における菌体シアル化の関与の証明	古賀 道明	神経内科	2,200,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
スモンに関する調査研究	川井 元晴	神経内科	700,000	(補) 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
後期糖化反応生成物が血液神経閻門に及ぼす影響の解析	清水 文崇	神経内科	900,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
血液脳閻門におけるAβ輸送システムの改変	佐野 泰照	神経内科	1,200,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
抑うつに関与する脳腸神経ペプチドが気分障害患者の脳基盤異常に与える影響	松尾 幸治	精神科神経科	900,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ヒストン脱アセチル化酵素を標的とした新規抗うつ薬創薬研究	大朏 孝治	精神科神経科	1,500,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
神経可塑性メカニズムの解明へ抗うつ薬の創薬を目指して～	山形 弘隆	精神科神経科	1,400,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
エンテロウイルス68型感染による気管支喘息発作増悪の機序解明に関する研究	市山 高志	小児科	1,300,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
インフルエンザ脳症の発症因子の解明とそれに基づく発症前診断方法の確立に関する研究	市山 高志	小児科	1,500,000	(補) 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
プリオントウ病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究	市山 高志	小児科	2,100,000	(補) 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)

小計 15

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

4/10

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
自己骨髓由来幹細胞を用いた心血管再生における新たな治療戦略	濱野 公一	第一外科	5,700,000	(補)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
不全心における自己再生誘導因子の探索				(委)	
外科侵襲後の癌進展における血管内皮前駆細胞の役割	榎 忠彦	第一外科	1,000,000	(補)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
内因性心筋再生を誘導するメカニズムの解明と新たな心筋再生治療法の開発				(委)	
熱ショック転写因子は血管再生治療の新規標的分子になり得るか?	美甘 章仁	第一外科	4,000,000	(補)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
移植細胞の生着率向上に基づく血管新生治療法の開発				(委)	
肺癌進展における肺気腫の関与とその機序の解明	桂 春作	第一外科	1,500,000	(補)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
移植細胞の生着率向上に基づく血管新生治療法の開発				(委)	
肺切除後の残存肺再生および創傷治癒における骨髓由来幹細胞の役割の解明	上田 和弘	第一外科	800,000	(補)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
幹細胞移植による心筋再生治療におけるメカニカルストレスの影響				(委)	
低酸素プレコンディショニングにより骨髓細胞の血管再生機能が増強するか?	久保 正幸	第一外科	1,900,000	(補)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
メカニカルストレスセンサーを分子標的とした大動脈瘤新規治療法の開発				(委)	
Shaggy aorta症候群への挑戦:病態解明と治療法開発への応用	吉村 耕一	第一外科	4,600,000	(補)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
炎症性動脈瘤形成症候群の新規診断バイオマーカーの開発と診断基準の作成				(委)	
心房細動患者の心房線維化に関する血中バイオマーカーの同定と臨床応用	末廣 晃太郎	第一外科	200,000	(補)	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
低出力衝撃波照射によるリンパ管再生の誘導とリンパ浮腫治療への応用				(委)	
白澤 文吾	第一外科	1,300,000	900,000	(補)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
				(委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業

小計 15

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

5/10

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
メチル化遺伝子を用いた早期肝癌診断システムの開発	岡 正朗	第二外科	3,600,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
進行・再発肺癌に対する新規エピトープペプチドカクテル療法と標準化学療法の併用効果を検討する多施設共同第Ⅰ相臨床試験				(補) 委	厚生労働省 科学研究費補助金
脳局所冷却による難治性てんかん治療用医療機器の開発	岡 正朗	第二外科	1,080,000	(補) 委	独立行政法人国立がん研究センター
宿主遺伝子多型と腫瘍遺伝子変異による大腸癌化学療法の効果・毒性予測				(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
効果的な複合免疫療法の確立(オンコアンチゲン由来ペプチドワクチンにおけるバイオマーカーの検証と治療戦略の構築)	畠 彰一	第二外科	15,454,546	(補) 委	文部科学省
再生医療を駆使した新しい小腸伸張術				(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
細径管消化管吻合補助器の実用化	上野 富雄	第二外科	1,325,000	(補) 委	科学技術振興機構
B7-DC-Immunoglobulin融合蛋白を用いた次世代型免疫療法の開発				(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
化学療法における消化管毒性とDiamine Oxidase(DAO)活性	武田 茂	第二外科	900,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肝細胞癌再発関連遺伝子のDNA異常に基づく血液からの再発予測システムの開発				(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肝細胞癌における門脈浸潤関連遺伝子RDPの発現および機能解析	飯田 通久	第二外科	1,200,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
乳癌患者自己抗体を用いた術後補助化学療法選択システムの開発				(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
HMGB1による癌化学療法の免疫学的効果予測	鈴木 伸明	第二外科	1,300,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脊髄障害性疼痛症候群の実態の把握と病態の解明に関する研究				(補) 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
脊柱韌帯骨化症に関する調査研究	田口 敏彦	整形外科	500,000	(補) 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
					小計 15

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

6/10

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
腰痛の診断、治療に関する研究「腰部脊柱管狭窄症の診断・治療法の開発」	田口 敏彦	整形外科	800,000	(補) 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
ラット脊髄損傷後の機能的神経筋電気刺激治療モデルの確立	寒竹 司	整形外科	800,000		日本学術振興会 科学研究費助成事業
コラーゲンフィラメント補填を用いた脊髄機能再建	鈴木 秀典	整形外科	2,800,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
乾癬発症候補遺伝子群の高次構造の解明	武藤 正彦	皮膚科	700,000		日本学術振興会 科学研究費助成事業
稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究	武藤 正彦	皮膚科	2,000,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
熱ショック応答を利用した新規メラノーマ治療法開発への基礎的研究	中村 好貴	皮膚科	1,300,000		日本学術振興会 科学研究費助成事業
中心体複製異常を指標とした新しい膀胱癌治療の試み	松山 豪泰	泌尿器科	2,800,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
高悪性度筋層非浸潤癌に対する尿道的膀胱腫瘍切除後の治療方針の確立に関する研究	松山 豪泰	泌尿器科	150,000		厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
淡明細胞型腎癌患者におけるコピー数多型の解析	坂野 滋	泌尿器科	500,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
網膜下瘢痕病巣形成メカニズム解明とその治療への応用	園田 康平	眼科	5,400,000		日本学術振興会 科学研究費助成事業
炎症性動脈瘤形成症候群の新規診断バイオマーカーの開発と診断基準の作成	園田 康平	眼科	500,000	(補) 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
感染性角膜潰瘍発症の分子機序に基づいた新たな治療薬の開発	木村 和博	眼科	1,900,000		日本学術振興会 科学研究費助成事業
角膜実質瘢痕の三次元解析と瘢痕形成の病態解明	森重 直行	眼科	1,500,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
内耳熱ショック応答の加齢による変化と老人性難聴への応用	山下 裕司	耳鼻咽喉科	700,000		日本学術振興会 科学研究費助成事業
前庭機能異常にに関する調査研究	山下 裕司	耳鼻咽喉科	1,300,000	(補) 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)

小計 15

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

7/10

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
新規診断マーカーCTPを用いた難治性内耳疾患の多施設検討	山下 裕司	耳鼻咽喉科	600,000	(補)厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者) 委
前庭神経系の可塑性における抗うつ薬の役割に関する研究	下郡 博明	耳鼻咽喉科	400,000	(補)日本学術振興会 科学研究費助成事業 委
加齢内耳における老化遺伝子の変化と熱ショック応答について	菅原 一真	耳鼻咽喉科	900,000	(補)日本学術振興会 科学研究費助成事業 委
いびきの音響解析と睡眠時CTによる睡眠呼吸障害患者の上気道閉塞部位診断法の確立	原 浩貴	耳鼻咽喉科	3,200,000	(補)日本学術振興会 科学研究費助成事業 委
末梢前庭機能回復過程におけるメカニズムの解明を目指して	竹野 研二	耳鼻咽喉科	700,000	(補)日本学術振興会 科学研究費助成事業 委
Video-Oculographyにおける定量的評価に基づく眼振解析システム	橋本 誠	耳鼻咽喉科	500,000	(補)日本学術振興会 科学研究費助成事業 委
老人性難聴モデルにおける凝集体形成の研究と分子シャペロンに着目した治療戦略の確立	御厨 剛史	耳鼻咽喉科	1,100,000	(補)日本学術振興会 科学研究費助成事業 委
2管球コンピュータ断層撮影装置を用いた冠動脈造影の臨床的有用性の検討	松永 尚文	放射線科	1,400,000	(補)日本学術振興会 科学研究費助成事業 委
Dual energy imagingにおける線質改善と画質向上への基礎的研究	藤田 岳史	放射線科	2,400,000	(補)日本学術振興会 科学研究費助成事業 委
血流イメージを用いた喀血の病態解析	松隈 美和	放射線科	600,000	(補)日本学術振興会 科学研究費助成事業 委
超早産児における皮膚成熟促進治療薬の開発を目指した基礎的研究	杉野 法広	産科婦人科	1,800,000	(補)日本学術振興会 科学研究費助成事業 委
カルボニールレダクターゼの機能解析－新たな機序による分子標的治療の開発に向けて－	村上 明弘	産科婦人科	2,000,000	(補)日本学術振興会 科学研究費助成事業 委
エストロゲンレセプター $\alpha$ プロモーターの組織特異的なメチル化領域の同定	浅田 裕美	産科婦人科	600,000	(補)日本学術振興会 科学研究費助成事業 委
子宮頸癌の新たなバイオマーカーの検索－測定系の確立と分子標的治療への応用－	末岡 幸太郎	産科婦人科	1,500,000	(補)日本学術振興会 科学研究費助成事業 委
子宮筋腫の増殖とエストロゲンレセプター $\alpha$ 標的遺伝子のDNAメチル化異常	前川 亮	産科婦人科	2,700,000	(補)日本学術振興会 科学研究費助成事業 委

小計 15

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

8/10

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
Akt(protein kinase B)の活性化による脊髄保護に関する研究	松本 美志也	麻酔科	1,100,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
非対称性ジメチルアルギニンが脳血管反応性へ及ぼす影響と術後早期高次脳機能障害	石田 和慶	麻酔科	1,100,000		日本学術振興会 科学研究費助成事業
難治性てんかんの局所脳温制御による治療とその応用	鈴木 倫保	脳神経外科	5,200,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
温度制御デバイスによる中枢神経系疾患に対するドラッグデリバリーシステムの開発	鈴木 倫保	脳神経外科	1,200,000		日本学術振興会 科学研究費助成事業
脳局所冷却による難治性てんかん治療用医療機器の開発	鈴木 倫保	脳神経外科	3,712,800	(補) 委	独立行政法人科学技術振興機構
胚性幹細胞由来大脳皮質細胞を用いた脳神経回路網形成および情報処理・伝達法の開発	出口 誠	脳神経外科	900,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
くも膜下出血後の脳血管攣縮におけるコレステロールの役割	白尾 敏之	脳神経外科	700,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脳血管障害に対する脳局所冷却を用いた急性期リハビリテーション法の開発	井上 貴雄	脳神経外科	1,800,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
舌筋由来幹細胞を用いた骨再生法	上山 吉哉	歯科口腔外科	3,600,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
障害者歯科におけるEBM確立を目的としたクリニックルパス開発および利用に関する研究	上山 吉哉	歯科口腔外科	411,000	(補) 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
4次元構音器官モデルの作成と口蓋裂言語への応用	三島 克章	歯科口腔外科	2,300,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
カオス理論を応用した口唇口蓋裂患者の口唇運動・言語機能統合診断法の開発	三島 克章	歯科口腔外科	1,300,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
口腔癌化学放射線療法の新規効果予測因子の同定とその発現に基づいた個別化医療の構築	原田 耕志	歯科口腔外科	700,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
熱ショック転写因子制御による口腔扁平上皮癌に対する分子標的療法の開発	堀永 大樹	歯科口腔外科	1,600,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
いびきの音響解析を用いた睡眠中の気道狭窄部位の診断法の開発	菅 北斗	歯科口腔外科	1,300,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

小計 15

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

9/10

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
大脑局所冷却装置を用いた術中脳機能マッピング法の確立	藤井 正美	手術部	1,000,000	(補)	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
真の難治性てんかんに対する非切除的治療法の研究開発				(委)	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
HSP70mRNA導入樹状細胞を用いた肝細胞癌術後補助療法の開発	爲佐 卓夫	手術部	1,400,000	(補)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脊髄虚血神経保護における抗炎症薬の臨床応用に関する研究				(委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
医療機関内輸血副作用監視体制に関する研究	藤井 康彦	輸血部	7,600,000	(補)	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
輸血用血液製剤及び血漿分画製剤投与時の効果的なインフォームド・コンセントの実施に関する研究				(委)	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
急性腎障害の早期予後予測：網羅的プロトコーム解析による尿中バイオマーカーの確立	笠岡 俊志	先進救急 医療センター	1,000,000	(補)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
急性心筋梗塞に対する病院前救護や遠隔医療等を含めた超急性期診療体制の構築に関する研究				(委)	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
重症患者の正しいせん妄評価の普及のための疫学調査とせん妄発症メカニズムの病態解明	鶴田 良介	先進救急 医療センター	1,500,000	(補)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
血管内経時的測定法を用いたスーパーオキシドアニオノラジカルの発生源と産生量の検討				(委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
大動脈解離の分子病態機序の解明と新規治療法の開発	鈴木 亮	先進救急 医療センター	800,000	(補)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
データマイニング等の手法を用いた急性心筋梗塞患者のリスク評価と予後予測				(委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
排卵過程においてメラトニンは卵胞内で活性酸素種から卵や顆粒膜細胞を保護する	田村 博史	総合周産期母子医療センター	700,000	(補)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
子宮内膜症の病態に関するゲノムデオキシリボ核酸メチル化プロファイルの網羅的解析				(委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
子宮内膜間質細胞脱落膜化に伴う遺伝子発現におけるエピジェネティクス調節機構の関与	田村 功	総合周産期母子医療センター	1,300,000	(補)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
				(委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業

小計 15

(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

10/10

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
アミロイドーシスに関する調査研究	星井 嘉信	病理部	1,500,000	(補) 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
進行肝細胞癌に対する鉄キレート剤と分子標的治療薬併用による新規治療法の開発	山崎 隆弘	光学診療部	1,400,000		日本学術振興会 科学研究費助成事業
胃癌抗体療法におけるADCC活性増強の試み—Fc受容体遺伝子多型の検討も含めて—	吉野 茂文	腫瘍センター	1,300,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
末梢血中のメチル化CCND2遺伝子測定による肝癌の低侵襲性予後診断	飯塚 徳男	漢方診療部	200,000		日本学術振興会 科学研究費助成事業
進行肝細胞癌に対する新規肝動脈化学療法の開発と分子標的治療併用の意義	日高 熱	肝疾患センター	1,300,000	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
高血圧における酸化ストレス亢進に対する生体防御機構の新たな機序解明	梅本 誠治	臨床試験支援センター	1,400,000		日本学術振興会 科学研究費助成事業
情報の構造化による医療事故・ヒヤリハット情報の利活用に関する研究	古川 裕之	薬剤部	500,000	(補) 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)

計 142

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第12)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 岡 正朗
管理担当者氏名	総務課長 三澤 和男 医事課長 岡崎 幸治

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録			
病院日誌		総務課	
処方せん		薬剤部	
手術記録、看護記録、検査所見記録、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		診療録センター 医療情報部	紙媒体のカルテは入院、外来別に1患者1ファイル方式として、保存整理している。 2009年9月より順次電子カルテシステムに移行し、移行後は電子媒体で保管している。
各科診療日誌、エックス線写真		各診療科	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	学術研究部研究推進課 小串地区研究・運営支援室	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課	
第規一則号第に一掲条げのる十体一制第の一確項保各の号状況び第九条の二十三第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全推進室	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全推進室	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全推進室	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	医療安全推進室	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	総務課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一條の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染制御室
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御室
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御室
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の実施状況	感染制御室
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	M E 機器管理センター
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	M E 機器管理センター
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	M E 機器管理センター
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	M E 機器管理センター

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

### 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

#### ○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 岡 正朗
閲覧担当者氏名	総務課長 三澤 和男 医事課長 岡崎 幸治
閲覧の求めに応じる場所	医学部本館 2階 閲覧室 外来診療棟 1階 患者相談室

#### ○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前 年 度 の 総 閲 覧 件 数	延	0 件
閲 覧 者 別	医 師	延 0 件
	歯 科 医 師	延 0 件
	国	延 0 件
	地 方 公 共 団 体	延 0 件

#### ○紹介患者に対する医療提供の実績

紹 介 率	74.2 %	算 定 期 間	平成23年 4月 1日～平成24年 3月31日
算出根拠	A : 紹 介 患 者 の 数 B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数 C : 救急用自動車によって搬入された患者の数 D : 初 診 の 患 者 の 数		9,973人 6,972人 1,404人 17,743人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第13-2)

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 指針の主な内容： (1) 本院の医療事故防止及び医療の安全管理に関する総合的な体制整備等について (2) 医療事故防止のための安全管理及び医療事故発生時の対応に関すること (3) 医療安全・事故等の防止に関する事項について、病院全体で取り組みための委員会及び推進室の設置並びに業務内容・規程整備等について (4) 医療事故防止のための安全管理に関する教育・研修会等を開催することについて</li></ul>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 活動の主な内容： (1) 医療事故の未然防止のための具体的方策・実施計画の策定 (2) リスクマニュアル、インフォームド・コンセントの整備・監修、リスクマネジャーの統括 (3) アクシデント・インシデント報告の分析、フィードバック (4) 医療事故防止のため、職員に対する指導及び教育・研修の企画・立案 (5) 医療安全推進室から提言された医療安全に関する事項の検討</li></ul>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年21回
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 研修の主な内容： (1) 全職員を対象に、職種関係なく横断的に医療安全に関する考え方や医療事故防止策について教育・研修を行う。本院で発生している事例を参考にテーマを決めて院内講師により研修を行う。 また、外部講師により裁判事例や社会情勢について講演してもらい、医療事故防止対策の研修を行う。 (2) 新規（中途）採用医師を対象に、特に医師が起こしやすい事例を参考に行う。主に薬剤関係、輸血、インフォームド・コンセント及び救急対応等の安全管理を中心に行う。 (3) 研修医を対象に、医師としての心構え（患者への対応など）をはじめ、他職種との連携など相対的な部分と医師が起こしやすい事例などを挙げて年度初めに研修を行う。 (4) 新人看護師とコメディカルを対象に、本院のリスクマネジメントの研修を行う。また、新人看護師を対象として、看護師の業務を中心に医療事故防止策・医療の安全について研修を行う。 また、1年目に起こしやすい事例を挙げ具体的に学ぶ。</li></ul>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 医療機関内における事故報告等の整備</li><li>・ その他の改善のための方策の主な内容：</li></ul>	
医療安全推進室において、アクシデント・インシデント報告について分析・再発防止策等の検討を行い、医療安全推進室会議及び医療安全管理委員会に提示して、審議のうえ決定され、リスクマネジャー連絡会議等で、教育・指導を行い再発防止策等の決定事項を周知した。	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有（2名）・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（2名）・無

⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 所属職員： 専従（1）名 専任（2）名</li><li>・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>(1) 医療安全管理委員会から提案された医療安全業務の実施に関すること</li><li>(2) アクシデント・インシデント報告の分析並びに再発防止策等の検討、提言に関するこ</li><li>(3) 医療の安全管理に係る教育・研修の企画・立案及び広報、啓発に関するこ</li><li>(4) 患者や家族への説明等、事故発生時の対応状況についての確認等に関するこ</li><li>(5) 事故等の原因究明が適切に実施されていることの確認等に関するこ</li><li>(6) リスクマネジャーとの連絡調整に関するこ</li></ul></li></ul>	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無

(様式第13-2)

### 院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無		
・ 指針の主な内容： (1) 感染対策に関する基本的考え方 (2) 医療関連感染対策のための委員会の組織に関する基本的事項 (3) 医療関連感染対策のための職員に対する研修に関する基本方針 (4) 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 (5) 医療関連感染発生時の対応に関する基本方針 (6) 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 (7) 本病院における医療関連感染対策の推進のために必要な基本方針			
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回		
・ 活動の主な内容： (1) 感染の予防に関すること (2) 予防対策実施の指導に関すること (3) 感染予防の教育に関すること (4) 職員の検診とその実施に関すること (5) 検診結果に基づく判定及び事後指導に関すること (6) 院内感染の原因調査、経過の追跡、整理及び分析等に関すること (7) 山口大学医学部附属病院感染制御室の管理及び運営に関すること			
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年12回		
・ 研修の主な内容： (1) 医療関連感染防止のための基本的知識の習得 (2) 処置別感染防止のための基本的知識の習得と最新の情報を知る (3) 抗菌薬の適正使用に関連したこと (4) 職業感染対策について			
平成23年度については、以下の内容で全職員を対象として研修を実施した。			
月日	テーマ	講師	ビデオ講習会
23.04.06	気をつけよう針刺し切創・感染対策の基本	院内講師	
23.06.14	感染症の適正診療と院内感染対策の結びつき	院外講師	23.06.28
23.07.15	問題となっている耐性菌の現状と対策	院外講師	23.07.25
23.10.04	結核の早期発見と感染予防	院外講師	23.10.31
23.11.08	消毒と滅菌	院内講師	
23.12.06	細菌検査について	院内講師	
24.01.24	ノロウイルスについて	院内講師	
24.02.07	手術部位感染について	院内講師	
24.03.15	摂食嚥下と口腔ケア	院内講師	

④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の状況

- ・ 病院における発生状況の報告等の整備 ( ・ )
- ・ その他の改善の方策の主な内容：
  - ・ 収集した各データや問題点を I C T会にて検討している。
  - ・ 対策を検討し必要な項目は、感染対策委員会へ提案、協議をしている。

(様式第 13-2)

### 医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 1 1回

- 研修の主な内容 :

平成23年度については、以下の内容で研修を実施した。

研修日	対象者	研修内容	講師等
23. 04. 04	コメディカル 新採用者	薬剤部の機構と運営	薬剤部長 副薬剤部長
23. 04. 04	研修医	麻薬の取り扱いについて 処方箋の取り扱いについて	副薬剤部長
23. 04. 27	新任看護師	臨床に役立つ薬剤に関するリスク管理	注射調剤主査
23. 05. 13	新規（中途） 採用医師等	くすりによる事故を起こさないために	副薬剤部長
23. 06. 15	看護師	安全で安心な薬の使い方講座 第1回 「麻薬を取り扱う上での注意点」 「配合変化はどうして起きるか？」	副薬剤部長
23. 06. 17	看護師	安全で安心な薬の使い方講座 第2回 「抗がん剤取扱い時の注意点」 「血中濃度と薬効の関係」	製剤主査 試験研究主査
23. 06. 22	全職種	キャンサーボード 「医療従事者の抗がん剤曝露の問題と その対策-特に抗がん剤を取り扱う 医師・看護師のために-」 「血液腫瘍患者におけるVCM血中濃度」	製剤主査 第1病棟10階 担当薬剤師
23. 10. 14	看護師	院内認定看護師（がん看護）コース教育 プログラム「がん医療と薬理」	製剤主査
23. 10. 15	看護師	公開シンポジウム 最新の糖尿病治療と看護師の役割 「糖尿病治療薬 特徴、飲み方、使い方 再確認」	第1病棟10階 担当薬剤師
23. 11. 08	全職種	院内感染対策講習会 「消毒について」	副薬剤部長
24. 03. 02	全職種	山口口腔ケア研修会 「薬剤師の視点から見たがん化学療法の 副作用対策」	製剤主査

③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況

- ・ 手順書の作成 (  ・ 無 )
- ・ 業務の主な内容 :

- (1) 医薬品の採用・購入に関する事項
- (2) 医薬品の管理に関する事項(麻薬等の管理方法等)
- (3) 患者の持参薬歴等の収集方法、処方箋の記載方法
- (4) 患者に対する与薬や服薬指導に関する事項
- (5) 医薬品の安全使用にかかる情報の取り扱いに関する事項
- (6) 他施設(病院等、薬局等)との連携に関する事項

④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況

- ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (  ・ 無 )
- ・ その他の改善の方策の主な内容 :

(情報収集の方法)

- ・ 薬品メーカー・製薬会社からの情報提供
- ・ 薬剤師会等からの情報提供
- ・ インターネットを使用し、医薬品の安全使用のための情報収集
- ・ 医療安全推進室と連携し、他病院の事故事例の収集

(情報の周知方法)

- ・ 薬剤部より月1回「D I E X P R E S S」を発行している。
- ・ 処方オーダーなど病院情報システムを利用するものについては、医療情報部と連携し、情報を当該端末機にホームページ(院内限定)でお知らせする。
- ・ リスクマネジャー会議などを通じて事故防止・対策を周知している。

(様式第13-2)

### 医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年28回 (4-9月, 院外分含む)
<ul style="list-style-type: none"><li>研修の主な内容： 有効性・安全性に関する事項 使用方法に関する事項 保守点検に関する事項 不具合が発生した場合の対応 法令上遵守すべき事項</li></ul>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>計画の策定 (有・無)</li><li>保守点検の主な内容：使用前点検、使用中点検、定期点検</li></ul>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</li><li>その他の改善の方策の主な内容： 「MEだより」の配布 「医療機器安全だより」(メーリングリスト)の配信 回収・改修情報の周知 等</li></ul>	